

## 地域医療介護総合確保基金(医療分)にかかる提案事業一覧(令和5年度～令和7年度)

※地域事業として査定された事業

提案団体名	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	基金所要額	新規・継続
神戸在宅医療・介護推進財団					内部障害者に対する専門職によるコンサルテーションを通じた医療体制の構築	住み慣れた家・地域に暮らしたいと願う高齢者に対し、医療従事者が生活期において専門家のコンサルテーションを受けることにより、安心して医療ケアを提供できる支援体制を築く。	新規	—				
神戸在宅医療・介護推進財団					地域包括ケアシステムを推進する内部障害リハビリテーション専門職の人材育成等	①実地研修と座学研修が一体となり、卒後教育を受けた人材を地域に輩出すること、②内部障害リハビリテーションに関するガイドラインを作成し、セラピストによる施術が一貫性のある統一されたアプローチを確立することにより、地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みを実施する。	新規	—				
須磨区医師会	須磨区医師会在宅医会による須磨区内での在宅医療の推進	地域の在宅医の果たす使命は、今後益々重要度が増す事が予測され、平成31年に発足した「須磨区医師会在宅医会」を中心に在宅医療の推進を図り、複合疾患を抱えがちな在宅高齢者に対応するために内科のみならず外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻科など、多くの診療科とも連携を密にして、須磨区内での在宅医療のレベル向上と連携のために、年3回程度の運営会議、講演会の開催、多職種連携のシンポジウム、病診連携の学術集談会等を行っていきたい。	継続	無								
須磨区医師会	在宅医療を必要とする、精神疾患を有する事例への対応策	在宅医療に携わっている専門家(医師、看護師など)を招いて(又はWebで)講演会を開催し、グループワークを通じて、患者への接し方、いろいろなケースにおける対応策について議論し、在宅医療の推進を図る。	継続	無								
神戸市須磨区歯科医師会	在宅医療・介護サービスのために必要な事業	安心安全な在宅歯科医療実施のための在宅歯科医療機器を購入し、在宅歯科医療を実施する医療機関に対して機器の貸し出しを行い、地域の訪問歯科診療依頼への対応を図る。	新規	無								
神戸市垂水区歯科医師会	在宅歯科医療を支える体制整備	①『介護従事者口腔ケア研修会』の開催 ②あんしんすこやかセンターとの連携体制の構築 ③訪問歯科診療のための研修会 ④病院歯科口腔外科との連携体制の構築 ⑤訪問歯科診療に必要な機材の整備・拡充 ⑥入退院患者の口腔機能管理を行うための体制構築	継続	有	在宅歯科医療を支える体制整備	①『介護従事者口腔ケア研修会』の開催 ②あんしんすこやかセンターとの連携体制の構築 ③訪問歯科診療のための研修会 ④病院歯科口腔外科との連携体制の構築 ⑤入退院患者の口腔機能管理を行うための体制構築	継続					

提案団体名	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	基金所要額	新規・継続
神戸市医師会	高齢者フレイル予防体操事業	生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症など)、心不全、COPD、CKD、整形外科疾患の運動療法について健康スポーツ医や専門医が講義を行う。また簡易な運動のプログラムを、かかりつけ医の指示のもと多職種で共有し、高齢者がセルフケアできるように啓蒙する。	新規	—						「在宅医療(特に医療的ケア)に関わるライフステージを通じた支援体制の確立」	2,379	新規
神戸市医師会	コロナ禍における地域を超えた訪問医師紹介システムの構築	市町の境界を越えた訪問診療体制を構築することで、コロナ禍での往診医師の紹介を相互の地域において可能にする。これを確立することで2次医療圏を超えた、往診体制も確立することが可能となる。	新規	—								
神戸市医師会	Webによる退院前カンファレンスの普及	令和3年度に作成した「Webによる退院前カンファレンスのための手引書」の内容を検討し、改訂版を作成する。アンケートで進捗状況を把握し、導入していない病院に対して、手引書をもとにロールプレイで実践する等の研修会を企画する。	新規	無								

提案団体名	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	基金所要額	新規・継続
神戸市 北区医師会	在宅医療の実施にかかると多職種連携事業の推進	①多職種連携による支援体制構築会議の実施 ②介護施設等への研修 ③感染症拡大時の対処マニュアルの作成 ④住民啓発のための講演会	新規	有	退院時における精神科・一般医の連携モデル事業	精神疾患を併発する患者について、症状が落ち着き在宅に帰るにあたり、リエゾン事業に関わった精神科医等の退院前カンファレンスへの参加による在宅支援の強化を図る。(H30事業でリエゾンチームの構築)	新規		ACP対応に向けて多職種連携支援事業	ACPIに関して、市民啓発が進んでいないことと、介護事業者においてもACPIに関する基礎的な知識、多職種チームによる意思決定支援についての理解が進んでいない。そのため、まずは訪問看護師、介護支援専門員等による多職種チームによる意思決定支援の向上を目指し、併せて効果的な市民啓発につなげる。	1,400	新規
神戸市 東灘区医師会	在宅療養者への栄養サポート推進事業「東灘区在宅NST推進研究会」	①令和4年度に行ったアンケート集計と評価、食支援に関する課題抽出 ②在宅NSTの活動を行っている専門家を招いての講演会の開催 ③「東灘区食支援連携ツール」の改善、改訂版の作成 ④東灘区在宅NST活動の効果的な普及啓発の推進 ⑤研究成果・運用成果を「東灘モデル」として全国に情報発信(学会発表) ⑥「東灘区在宅NST推進研究会」定例会議、運営会の開催 ⑦東灘区内で在宅NST活動ができる体制作り(事務局体制の構築と運営) ⑧地域の大学と協同研究・・・地域に根差した取り組みを進めるための検討	継続	有	「東灘区在宅NST推進研究会」の推進と活用	神戸市東灘地域における「食」に関する諸課題(摂食嚥下機能低下、口腔ケア、栄養ケア)に対して、医療・介護分野の多職種が連携し調査・研究や教育・啓発活動などを推進するとともに、在宅で活かせる体制づくりを進める。 ①在宅NSTの活動を行っている専門家を招いての講演会の開催 ②「東灘区食支援連携ツール」特に「食支援サマリー」の普及を目指した活動 ③「東灘区食支援連携ツール」の改善と改訂版の推進 ④東灘区在宅NST活動の効果的な普及啓発の推進 ⑤研究・運用成果を学会発表などで「東灘モデル」として全国に情報発信する ⑥東灘区内で在宅NST活動ができる体制作り(事務局体制の構築と運営)	継続		「東灘区在宅NST推進研究会」の推進と活用	・多職種(医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、施設・病院の管理栄養士、病院・在宅の言語聴覚士、歯科衛生士、社会福祉士等)により、食に関する課題抽出と対応策の検討、実施を行う。 ・プロジェクトで作成した「東灘区食支援連携ツール」は、令和6年度に神戸市内の基幹病院や協力いただける他区の施設・病院、芦屋市にもご協力いただき、「食形態マップ」は、より多くの情報提供ができるようになっている。令和7年度は、このツールを普及啓発することで、病院・施設～在宅(自宅)への食の情報共有ツール「食支援サマリー」が神戸市全体で利用してもらえるように取り組んでいく。	1,103	継続
神戸市 歯科医師会	神戸圏域における各地域との医療連携を含む多職種連携の強化、地域包括システムのための取り組みとしての在宅歯科医療の推進	歯科医師・歯科衛生士を拠点もしくは居宅派遣し、要介護者の歯科健診・口腔機能診査を行うことにより口腔内状態を把握し、介入が必要な方については神戸市の訪問歯科診療・訪問口腔ケア推進事業につなげることで、口腔内環境と摂食嚥下機能の維持を図り、合併症の発生を抑制する。	継続	有	神戸圏域における多職種連携の強化、地域包括ケアシステム拡充のための取り組みとしての小児在宅歯科医療の推進	在宅の医療的ケア児の訪問歯科口腔健診等を行い、歯科疾患の有無、口腔機能を把握し必要な対象に早期の口腔機能管理介入を行う事で口腔機能の悪化を防止し、良好な成長発育を促す。	新規		神戸圏域における多職種連携の強化、地域包括ケアシステム拡充のための取り組みとしての小児在宅歯科医療の推進	神戸市歯科医師会の医療的ケア児在宅訪問診療で訪問診療による口腔機能管理を行い、口腔機能の悪化を防止し良好な成長発育を促す。加えて後方支援体制としての神戸市立こくべ市歯科センターや市民病院機構と連携可能な体制を整備する。	1,660	継続
神戸市東灘区 歯科医師会	在宅療養者に対し低栄養予防の管理指導を行える人材の育成事業	栄養士や言語聴覚士を講師に迎え、歯科医師・歯科衛生士を対象とした栄養指導や嚥下リハビリに関する研修会を開催する。	新規	有	在宅療養者に対し低栄養予防の管理指導を行える人材の育成事業	栄養士や言語聴覚士を講師に迎え、歯科医師・歯科衛生士を対象とした栄養指導や嚥下リハビリに関する研修会を開催する。	継続		在宅療養者に対し低栄養予防の管理指導を行える人材の育成事業	栄養士や言語聴覚士を講師に迎え、歯科医師・歯科衛生士を対象とした栄養指導や嚥下リハビリに関する研修会を開催する。	360	継続

提案団体名	令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	新規・継続	実施有無	事業名	事業概要	基金所要額	新規・継続
神戸市東灘区 歯科医師会	在宅療養者への 嚥下機能評価と口 腔機能管理ができ る人材育成	食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管 理を行う際に必要な知識を得るための研修会を 実施する。(R2年度と同様)	継続	有	在宅療養者への 嚥下機能評価と口 腔機能管理ができ る人材育成	食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管 理を行う際に必要な知識を得るための研修会(歯 科関係者→歯科関係者)を実施する。	継続		在宅療養者への 嚥下機能評価と口 腔機能管理ができ る人材育成	食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管 理を行う際に必要な知識を得るための研修会を 実施する。	270	継続
神戸市東灘区 歯科医師会					在宅療養者への 嚥下機能評価と口 腔機能管理ができ る人材育成	多職種を対象とし、食支援につながる嚥下機能の 評価と口腔機能管理を行う際に必要な知識を得 るための研修会(歯科関係者→多職種)を実施す る。	継続		在宅療養者に対 する嚥下機能評価 と口腔機能管理の できる人材育成事 業	食支援につながる嚥下機能の評価と口腔機能管 理に関する知識を得るための研修会を歯科医師・ 歯科衛生士に対して行う。	340	継続
神戸市東灘区 歯科医師会	特定疾病を有する 在宅療養者に対し 歯科診療・口腔機 能管理を行える人 材育成	特定疾病を有する在宅療養者に関する知識を外部 講師(医療職・介護職の方)から学ぶための研 修会を歯科医師・歯科衛生士に対して行う。 (H31年度と同様)	継続	有	特定疾病を有する 在宅療養者に対し 歯科診療・口腔機 能管理を行える人 材育成	特定疾病を有する在宅療養者に関する知識を外部 講師(医療職・介護職の方)から学ぶための研 修会を歯科医師・歯科衛生士に対して行う。	継続		特定疾病を有する 在宅療養者に対し 歯科診療・口腔機 能管理を行える人 材育成	特定疾病を有する在宅療養者に関する知識を外部 講師(医療職・介護職の方)から学ぶための研 修会を歯科医師・歯科衛生士に対して行う。	360	継続
神戸市東灘区 歯科医師会					在宅療養者の口 腔管理・栄養管理 を要する在宅歯科 医療推進事業	施設職員を対象とし、認知症などを有する在宅療 養者の口腔機能に応じた食支援・栄養指導ので きる人材育成を目的とした研修会(歯科関係者→ 施設職員)を行う。	継続		在宅療養者の口 腔管理・栄養管理 を要する在宅歯科 医療推進事業	口腔機能管理と口腔機能に応じた食支援・栄養 指導のできる人材育成を目的とした研修会を行 う。	340	継続
神戸市 垂水区医師会	行政単位・医療圏 を越えた連携事業	明舞団地をモデル地区とし、垂水区・明石市と両 方の各専門職が集まり、課題を抽出し、対応策を 検討したうえで、対応策を実施する。遠隔会議で の活動を組み合わせることにより、課題解決の流 れを止めないで実施できるノウハウも今年度に蓄 積をしたい。	継続	無					地域包括ケアにお ける薬物療法を支 える医療職の実践 のための研修	①連絡会において薬物療法の現状と課題を抽出 し、研修を企画する。②地域包括ケアにおいて薬物療法を受ける患者の支 援の実際について研修会を開催する(例) ●訪問薬剤指導管理の実際 ●ポリファーマシーケースの調整の実際 ●高度医療急性期病院で専門的医療(例:がん 化学療法)を受けながら、循環器疾患を地域でか かりつけ医が診ている事例の連携の実際	854	新規
神戸市 垂水区医師会									在宅医療での神 経難病の患者の 対応についての多 職種連携に関する 講演会の実施	神経難病に対し豊富な経験や知見を有する医師 や看護師などの講師を招き、講演会やシンポジウ ムを開催する。神経難病に対する基礎知識から 現在広く行われている治療法の実際までを学ぶ。 また在宅における神経難病の方々に対する看護 や介護の実際を学び在宅医療での神経難病の 方々を地域で支える。	800	新規
神戸市 垂水区医師会									在宅医療での嚥 下障害の患者の 対応についての多 職種連携に関する 研修会の実施	医療機関において、有資格者(特にリハビリテー ション医や管理栄養士や言語聴覚士)の下で行わ れる嚥下機能障害者のサービスが、施設や在 宅、居宅では同様のサービスの継続が困難な場 合があり、内容が大きく変わってしまう事が多い。 嚥下機能障害に対し、居宅においても医療機関と 同様のサービスが継続できるようにするため、管 理栄養士・言語聴覚士等から、居宅において実践 が可能な栄養学的知識や嚥下訓練によるリハビ リの実際について研修会を通じ学ぶ。また、在宅 医療へシームレスに移行できるよう協議会を通し て多職種間で情報共有を行い食事・嚥下に関す る啓発を行い食事の質を高める方策を検討する。	1,075	新規